

速日峰橋

宮崎に架けられた日本で最初の車道の上路式吊床版橋

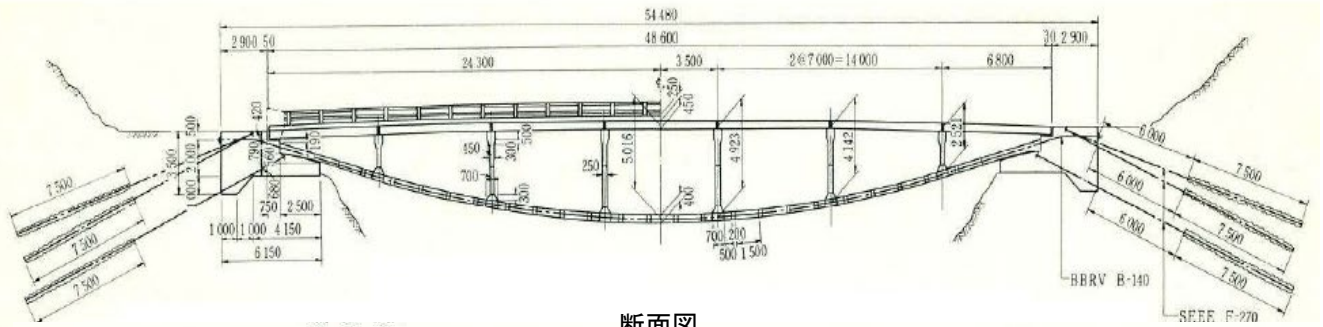


施主	宮崎県北方町
施工場所	宮崎県東臼杵郡北方町
完成年	1977年
橋長	54.48m
形式	単純上路式吊床版橋
活荷重	TL-14
全幅	4.8m
桁長	48.6m
サグ量	5.0m
スパン・サグ比	1/9.7
架設工法	PC鋼材を利用した引き出し架設工法 プレキャストブロック工法
下部工形式	ロックアンカー式アバット
受賞	土木学会 田中賞 1977年 PC技術協会 作品賞 1977年
参考文献	橋梁と基礎 1978年 7月

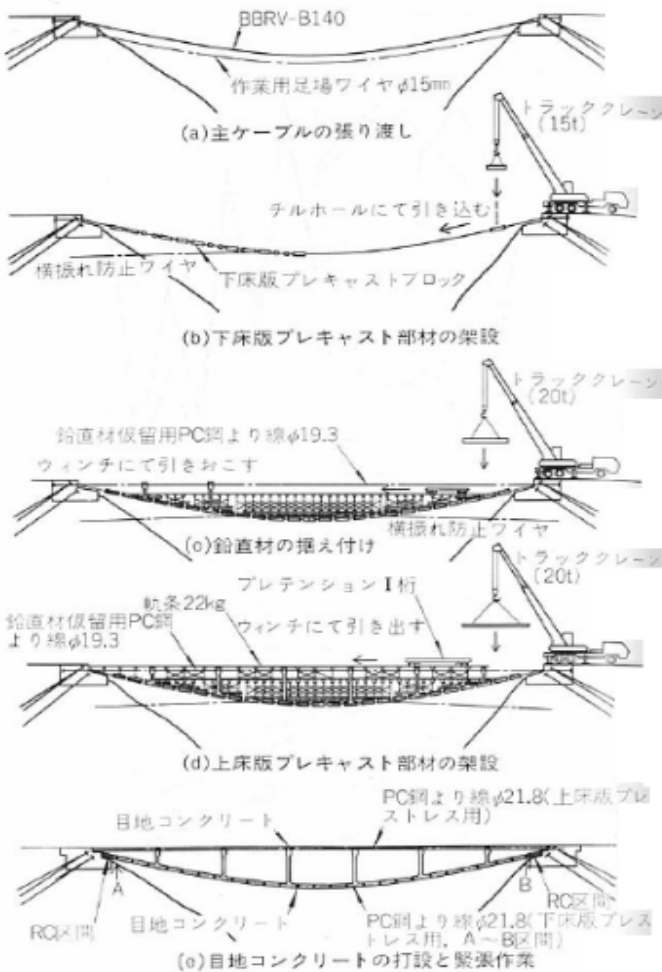
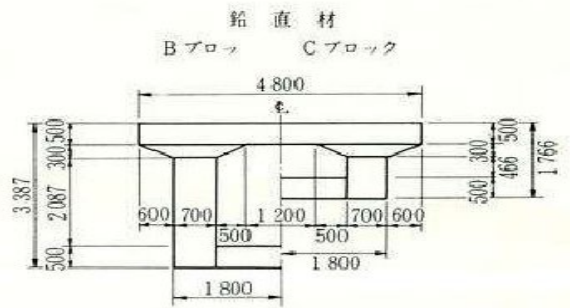
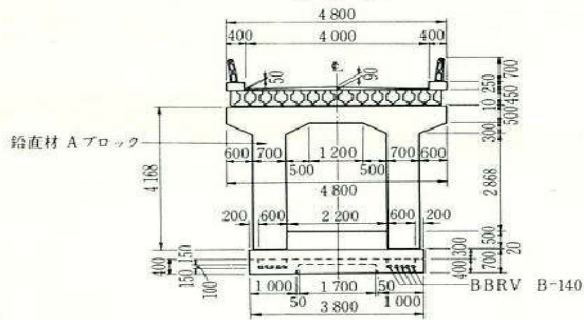
本橋は、弧を描く吊床版の上に補剛桁を配置し、縦断勾配を緩和することにより車輛の通行が可能にされた。併せて幾何学的剛性を高め、荷重による変形量を小さくしている。架設地点は、山間部にあり道路が狭いため、大きな部材や建設機械を持ち込むことはできなかった。そのため小さなプレキャスト部材を組み立てることにより橋梁を完成させている。

プレキャスト版は、両橋台間に張り渡されたPC鋼材に吊り下げられ、片方の橋台から他方の橋台に送り出され架設された。吊床版に生じる水平力に対しては、両橋台のグラウンドアンカーにより対処している。現在は周囲の樹木が生い茂り、橋梁全体を見渡すことができる地点がないのが残念である。

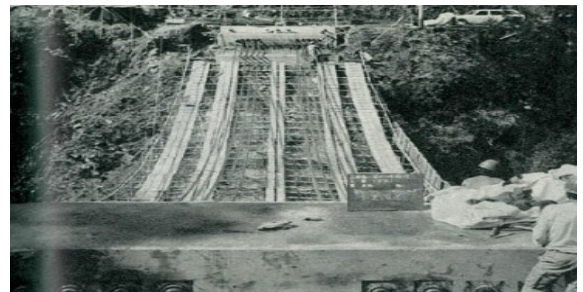
側面図



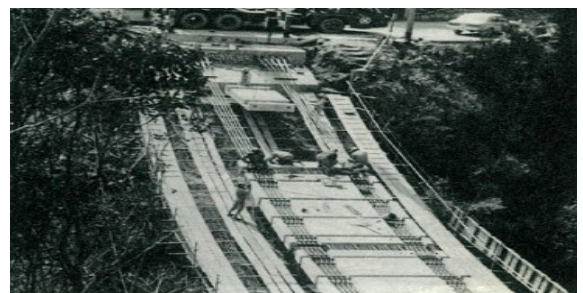
断面図



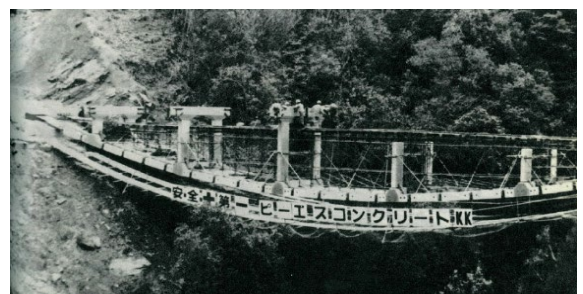
上部工の施工順序



主ケーブルの張り渡し



下床版プレキャスト部材の架設



鉛直材の据え付け